経　済　民　生　常　任　委　員　会　記　録

令和８年４月28日（火）午後１時27分～午後１時41分（第３委員会室）

〇出席委員（８名）

委 員 長	斎藤　正臣
副委員長	山田　　裕
委　　員	遠藤　幸一
委　　員	佐藤　　勢
委　　員	尾形　　武
委　　員	小野　京子
委　　員	黒沢　　仁
委　　員	渡辺　敏彦

〇欠席委員（なし）

〇市長等部局出席者（なし）

〇案　　件

所管事務調査「国際会議観光都市認定による効果・影響に関する調査」

１　委員長報告のまとめについて

２　その他

午後１時27分　　開　　議

（斎藤正臣委員長）ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

初めに、委員長報告のまとめについてを議題といたします。

資料１をご覧ください。１番ですね。前回の委員会において皆様からいただいた主な意見について朱書き部分を反映いたしました。まず、４ページ目、最下段、（５）、既存施設の洗い出しは提言項目に移しましたので、後ほどご説明いたします。

６ページですけれども、（２）、①に市部局間での横断的な連携、きめ細やかな開催支援など追記しております。②は、オール福島県で取り組むことができる充実した誘致体制を推進すべきに修正しております。

７ページですが、（３）を福島市ならではのに変更し、①では放射線を追記、②で施設の充実化の提言を追加しております。③では、吾妻山麓、農産物などを追記しております。

以上の変更点を反映し、素案を作成しましたので、資料２をご覧ください。

ここからは、黙読の時間を取り、活発な議論が行えるよう自由協議とさせていただきます。なお、自由協議中は録音を停止いたします。

それでは、ただいまから自由協議とします。

【この間自由協議】

（斎藤正臣委員長）それでは、ただいまの委員長報告案につきまして、各会派内での調整をお願いいたします。

委員会閉会後、会派確認用として、１ページ８行目の回数、委員会の開会回数ですね、を14回に修正してタブレットへ配付しますので、各会派内での調整をお願いいたします。なお、配付が完了した際は事務局よりＬＩＮＥ　ＷＯＲＫＳでお知らせするようにいたします。

そういたしまして、次回の委員会において会派内調整の結果を会派ごとにご報告いただくことでよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）ありがとうございます。

続いて、その他について、何かご意見はございますでしょうか。

（渡辺敏彦委員）先ほど赤字のところを消してあるのが何だと言ったのだっけ。

（斎藤正臣委員長）どういう意味ですか。

（渡辺敏彦委員）赤字の消してあるのは何だと言ったの。

（遠藤幸一）提言に入れたと。

（渡辺敏彦委員）後で説明すると言わなかった。

（斎藤正臣委員長）それはさっき説明したのですけれども……

（渡辺敏彦委員）何だというのだっけ、これは。何で削ったと言ったのだっけ。

（斎藤正臣委員長）どこでしたっけ。

（渡辺敏彦委員）４ページの。

（斎藤正臣委員長）４ページ目の最下段、これ資料１の話ですよ。資料１の４ページ目の最後、既存施設の洗い出しは提言項目に入れたのです。７ページに行きました。

（黒沢　仁委員）資料２の。

（斎藤正臣委員長）そう。

（黒沢　仁委員）資料２の７ページに。

（渡辺敏彦委員）７ページか。

（斎藤正臣委員長）そうそう、そうそう。

（渡辺敏彦委員）資料の７ページ。

（斎藤正臣委員長）資料ではないです。資料１の７ページ。

（渡辺敏彦委員）提言書のあれだ。

（斎藤正臣委員長）そうそう、そうそう。要は既存施設の洗い出しというのを現状はこうなのですみたいな形でちょっと流した感じで言っていたのですけれども、既存施設の洗い出しも市への提言のほうに移して、しっかりと市の当局のほうへ提言したほうがいいのではないかというようなご意見が前回あったので、７ページのほうに移動したというようなことです。７ページではないですか。何ページだっけ。

（書記）実際に、素案のほうは６ページの19行目でございます。こちらの施設の充実化というところに記載しております。

（渡辺敏彦委員）さらなる受入れ施設の、ここに、この一言に入れたということな。

（書記）こちらのほうに提言として入れたというところでございます。

（斎藤正臣委員長）ごめんなさい。ちょっと分かりづらかったです。すみません。どうですか。分かりました。

（黒沢　仁委員）分かった。

（斎藤正臣委員長）いいのですよ、全然。遠慮なく言ってもらって。

では、その他、ほかにありますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

（斎藤正臣委員長）では、以上で経済民生常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後１時41分　　散　　会

経済民生常任委員長　　斎　藤　正　臣